

諫早市ゼロカーボンシティ実現に向けたシナリオ策定業務委託

仕様書

1 業務名称

諫早市ゼロカーボンシティ実現に向けたシナリオ策定業務委託

2 業務目的

本業務は、2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた本市の課題を整理したうえで、再生可能エネルギー導入の現状やポテンシャル等を調査・分析し、本市が今後取り組むべき具体的かつ実現性のあるシナリオを策定するものである。

3 業務期間

契約締結日から令和6年1月10日（水）まで

4 業務内容

- ・策定予定である諫早市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）への反映を前提として業務を行うこと。
- ・環境省が公表している次の資料に基づき適切な方法で行うこと。
 - 地方公共団体における長期の脱炭素シナリオ作成方法とその実現方策に係る参考資料
 - 地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル

(1) 基本事項及び基礎情報の収集・整理・分析

区域の自然的、経済的、社会的条件を踏まえた区域内の、再生可能エネルギーの導入、温室効果ガス排出量の削減、二酸化炭素吸収源の増進に関する情報の収集、現状分析及び地域課題の把握を行う。

- ①地球温暖化に関する最新情報（現状、影響、国内外の動向、IPCC 報告書等）の調査
- ②他市の事例調査
- ③本市における温室効果ガス排出及びエネルギー消費の現状
- ④本市における再生可能エネルギーの導入状況
- ⑤本市における「ゼロカーボンシティ」実現に向けた課題の分析
- ⑥本市の総合計画、一般廃棄物処理基本計画、都市計画マスタープラン等の関連計画、法令、制度との関連性の整理
- ⑦市民及び事業者の温暖化に関する意識調査

- (2) 温室効果ガス排出状況及びエネルギー消費量の推計
- ①本市の温室効果ガス排出量とエネルギー消費量の将来推計を実施。
なお、推計に当たっては複数のパターンで行うこと。
 - ②本市の森林等の二酸化炭素吸収量の調査
 - ③上記①及び②の調査に基づき、本市の課題、特性を分析
- (3) 地域の将来ビジョン、脱炭素シナリオ及び温室効果ガス削減目標の作成
- (2) の推計値を踏まえ、2030 年を中間地点とした地域の脱炭素社会の将来ビジョン、シナリオ作成、削減目標の設定を行う。2030 年目標については、国の地球温暖化対策推進計画において定められた国の削減目標と整合性を図ると共に、本市が実行可能な削減量を分析したうえで設定する。
- (4) 地域の特色を生かした再エネ導入や二酸化炭素吸収量の目標設定
- 区域における再エネ導入に関するポテンシャルを調査し、将来のエネルギー消費状況や他地域との連携を踏まえたうえで、地域の特色を生かした目標の設定を行う。
- また、区域における森林、干潟、海洋などの自然環境について、二酸化炭素吸収源のポテンシャルを調査し、自然環境の適正管理を含め地域の特色を生かした目標の設定を行う。
- (5) (3) 及び (4) を実現・達成するために必要な政策及び指標等の検討
- 2030 年を中間地点に、2050 年度を見据えた具体的かつ実現性を考慮した政策及び指標等の検討を行う。並びに重要な施策に関する構想の作成（区域全体への水平展開を見据えた再生可能エネルギー導入のビジネスモデル創出に向けた実現可能性調査）も含めて検討を行う。
- (6) 各種会議等の支援
- (3) 及び (4) の目標設定にあたり、地域の合意形成のために開催される会議に必要な資料作成及び当日の運営を支援する。
- また、シナリオに関するパブリックコメントを実施するための資料の作成及び結果の集計、回答案の作成を支援する。
- (7) 業務報告書の作成
- (1) ～ (5) の調査及び検討結果等を業務報告書としてとりまとめる。
- とりまとめにあたっては、策定予定である諫早市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に反映できるよう特に配慮すること。

(8) 協議及び報告

業務開始時、中間（おおむね2か月に1回程度）、完了時を基本とし、必要に応じて適宜実施すること。

5 成果品

- | | |
|----------------------------|----|
| (1) 業務報告書 | 1部 |
| (2) 諫早市ゼロカーボンシティ実現に向けたシナリオ | 1部 |
| (3) シナリオ概要版 | 1部 |
| (4) 電子データ | 1式 |

6 備考

本仕様書の内容について疑義が生じた場合は発注者と協議し、その指示に従うこと。